

テクノメタル
環境報告書 **2019**

テクノメタル環境方針

基本方針

当社は、天然資源やエネルギーを多く消費する企業であり、自然環境の保護・保全が地域環境はもとよりグローバルな重要課題であることを認識し、環境改善と地域との共生を推進します。

行動指針

1. 法規制の順守と社会的責任

法令、条例、協定、同意するその他の要求事項を順守し、社会的責任を遂行します。

2. 環境負荷の低減

CO₂排出の抑制、省エネルギー、汚染の予防及び廃棄物削減は重点的に取り組み、環境リスクの低減と工場のクリーン化を推進します。

3. 環境パフォーマンスの向上

環境マネジメントシステムの継続的改善による環境パフォーマンスの向上を図ります。

4. 社会貢献

地域住民、行政等と連携を取り、社会貢献活動を積極的に推進します。

5. 環境情報の開示

環境関連情報を広く公開し、社内外とのコミュニケーションを図ります。

2016年11月1日

代表取締役社長 三浦 哲夫

目 次

環境方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

ご挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

会社概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

環境マネジメント・・・・・・・・・・・・5

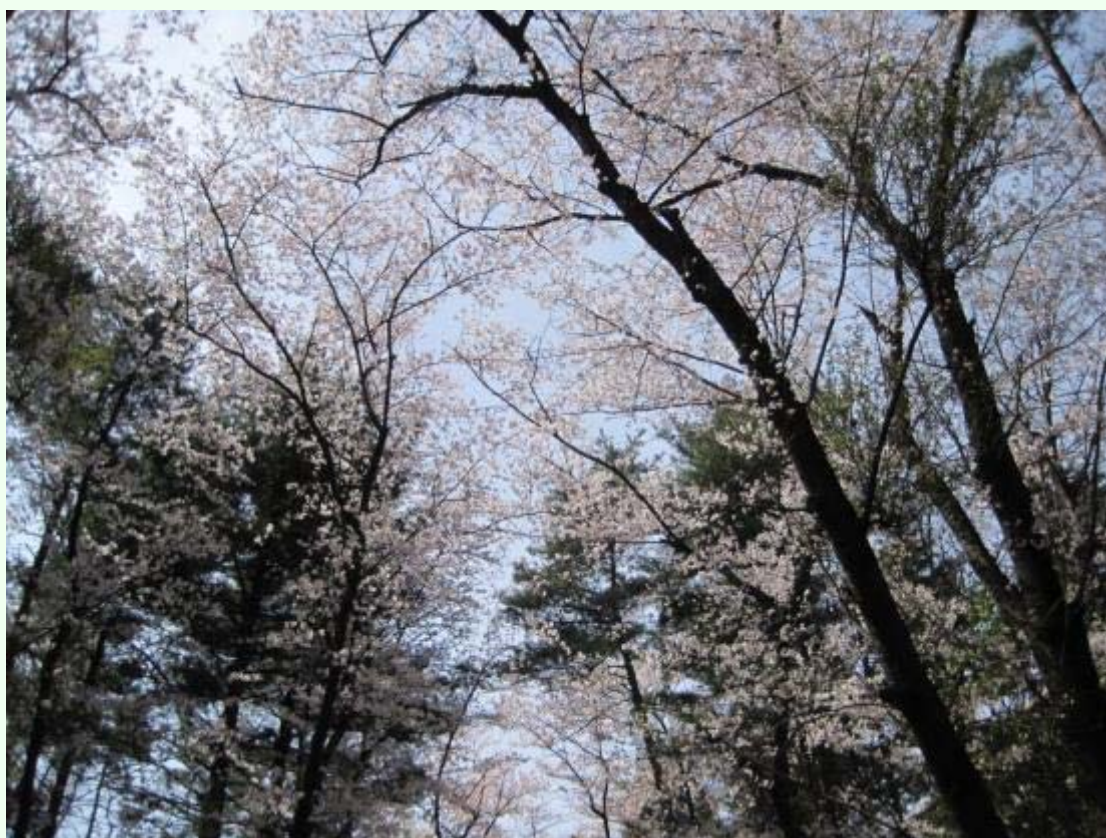
地球温暖化防止・・・・・・・・・・・・7

廃棄物の削減・・・・・・・・・・・・10

有害物質の管理・・・・・・・・・・・・12

事業活動の環境負荷・・・・・・・・・・13

環境保全、地域社会及び社員との共生・・・・14



テクノメタルは SDGsの目標実現に 貢献できる企業に！



代表取締役社長

—Challenge the Impossible—

経営基本方針

1. Q・C・Dの質を高め、顧客満足と顧客創造をめざす
2. 独自技術の継続的開発とコスト競争力強化により、利益を伴う成長をめざす
3. 自然環境保護、地域社会並びに社員との共生に努める

現在の日本経済を取り巻く環境を見ると、国外環境では、米中貿易摩擦を背景とした世界経済の減速に伴う輸出低迷、ホルムズ海峡の安全航行確保の不安定化、国内環境では、雇用環境は良好であるものの生産活動の停滞、少子高齢による市場縮小による内需の鈍化など、先行き不透明感の強い状況にあります。

鑄造、鍛造においては、設備のNC化、自動化技術の発展や鑄造解析、鍛造解析等のCAE解析技術の発展に伴い、特にアジア諸国が強力な競争相手となり、当社が国内事業での生き残りを図るにあたっては経営基本方針のもと時代のニーズ応えたダントツの固有技術力、ダントツの品質による製品づくりを目指しています。

環境面では、日本のSDGsモデルを世界に発信するため、2017年12月に開催された持続可能な開発目標(SDGs)推進本部会合にて『SDGsアクションプラン2018』が打ち出され、その翌年2018年6月に『SDGsアクションプラン2019』が決定されました。この中では、日本のSDGsモデルの方向性を踏まえつつ、モデル具体化に向けて8分野に分けて実施指針が示されています。その中には『省エネ・再エネ、気候変動対策、循環型社会』や『生物多様性、森林、海洋等の環境保全』が含まれており、特に産業界には徹底した省エネや再エネの導入、気候変動対策、化学物質規制順守などが求められています。これらに対し、当社としても社業を通じてSDGsの目標実現に向けて貢献していきます。

会社概要

社名	テクノメタル株式会社	
所在地	本社・二本松工場	福島県二本松市高田100番地
	北本工場	埼玉県北本市古市場1丁目100番地
設立	1971年5月20日	
資本金	2,530百万円	
株主	Techno-Metal Amtek Japan Investments Ltd.	
従業員数	693名(2019年10月1日現在)	
事業内容	自動車・建設機械・産業機械用各種鋳造、鍛造及びアルミダイカスト部品の製造販売	

主要顧客	三菱ふそうトラック・バス株式会社	三菱重工業株式会社	日野自動車株式会社
	三菱重工業エンジン&ターボチャージャ株式会社	KYB株式会社	UDトラックス株式会社
	三菱自動車工業株式会社	株式会社小松製作所	図南鍛工株式会社
	三菱ロジスネクスト株式会社	アイシン高丘株式会社	日産自動車株式会社
	東京ファブリック工業株式会社	浅井ショーワ株式会社	日鉄物産株式会社
	キャタピラージャパン株式会社	井関農機株式会社	日産工機株式会社
	ブラザー精密工業株式会社	株式会社クボタ	
	日立オートモティブシステムズ株式会社		
	パーキンスジャパン合同会社		

沿革

1970年06月	三菱重工業(株)から三菱自動車工業(株)が分離
1971年05月	三菱自動車工業(株)の全額出資により「東北三菱自動車部品(株)」として設立
1981年04月	東菱機工(株)を吸収合併し北本工場とする
1992年10月	社名を「三菱自動車テクノメタル(株)」と改称
2003年01月	三菱ふそうトラック・バス(株)が三菱自動車工業(株)から当社株式を継承
2003年03月	ISO14001(環境)認証を取得
2003年10月	社名を「三菱ふそうテクノメタル(株)」と改称
2004年06月	ISO9001(品質)認証を取得
2006年02月	旭テック(株)が筆頭株主となる。社名を「テクノメタル(株)」と改称
2007年05月	ISO/TS16949(品質-自動車)認証を取得
2007年08月	旭テック(株)が当社株式を100%取得
2015年06月	Amtek Auto社が当社株式を100%取得。
2017年11月	テクノメタル(タイランド)社を子会社化

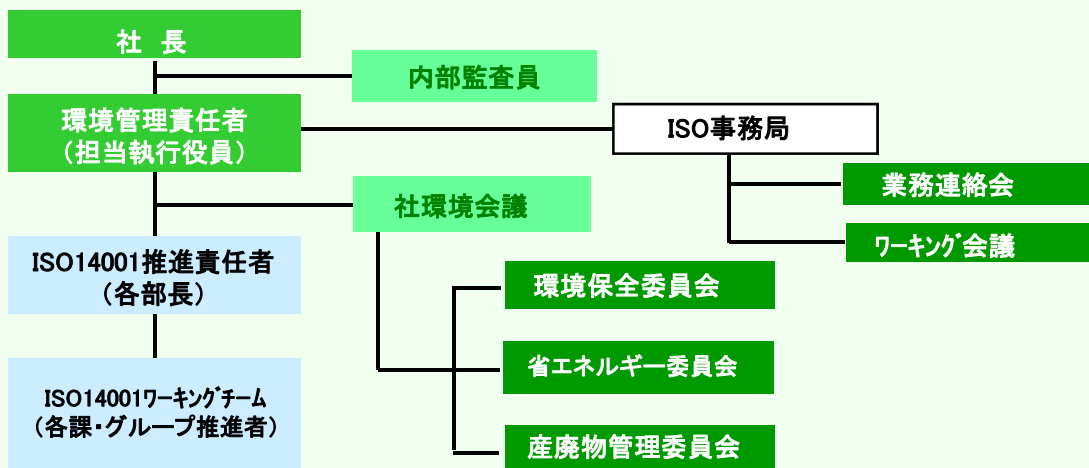
環境マネジメント

■ISO14001取得状況と環境マネジメント推進組織

ISO認証取得

事業所	本社二本松工場、北本工場
取得日	2004年6月
認証登録機関名	BSIグループジャパン株式会社

環境マネジメント推進組織



2004年にISO14001の認証取得を行い、認証機関による外部審査及び内部監査員による監査を定期的に行い、ISO14001規格の適合及び活動の有効性を確認するとともに、社長によるマネジメントレビュー(社環境会議)を2回/年開催し、環境マネジメントの維持、改善に努めています。



第三者審査



内部監査

環境マネジメント

■ 環境管理 2018年度活動目標と実績

2018年度環境改善活動結果について、以下に示します。

エネルギー使用量の低減や産業廃棄物の改善は、目標を満足する結果が得られています。また、法令順守については、大気、水質、騒音等の規制値順守を含め適正であることを確認しました。

活動項目	目標	実績	評価	2019年度活動目標
1. 天然資源の有効活用 〔1〕エネルギーの有効活用 エネルギー使用量削減	2018年度エネルギー使用量 計画の1%削減を目標に 活動 ・二本松工場 487kℓ ・北本工場 17.4kℓ	・二本松工場 567.6kℓ ・北本工場 17.4kℓ	◎	エネルギー原単位実績により得られる2019年のエネルギー使用計画量の1%低減を目標として活動
〔2〕荷主に係わる省エネ	2017年度実績原単位の 1%低減を目標とし活動 目標≤27.94kℓ/百万トンキロ	28.57kℓ/百万トンキロ	△	2018年度目標への再挑戦
2. ゼロエミッションの実現 埋立処分率低減 再資源化率向上	二本松工場 ・埋立処分率≤0.30% ・再資源化率≥96.5% 北本工場は維持管理	二本松工場 ・埋立0.35% ・再資源95.9%	△	2018年目標への再挑戦 二本松工場 ・埋立処分率≤0.3% ・再資源化率≥96.5%
3. 環境改善 〔1〕法令順守	順守率100%	・法令違反なし ・排出規制値順守良好	○	順守率100% 法令改正確認の徹底
〔2〕公害未然予防	・粉塵飛散対策 ・油・濁水流出防止 ・騒音防止 ・悪臭防止	・工場天井ファンからの 飛散対策実施 ・集中豪雨想定訓練実施 ・騒音防止対策と管理 ルール順守 ・新設設備臭気対策 *苦情: 粉塵5件、異臭 1件あり、提供者に対し 適正に処置実施	○	・粉じん飛散低減 ・油・濁水流出防止 ・騒音防止 ・悪臭未然防止
4. 有害物質の 使用量低減	・化学物質リスク評価 ・有害物質使用量低減	・既存、新規化学物質 リスクアセスメント実施 ・PRTR報告対象製品 の代替え化	○	・化学製品のリスクアセスメント実施 ・有害化学物質含有資材の代 替え推進
5. 環境配慮製品開発、 設備計画の実施	・新製品、製造工程の環 境負荷低減 ・設備の計画、工事時の 環境影響評価実施	・製造工程設計時の環 境配慮折込 ・環境影響評価実施し、 著しい影響項目なし	○	・環境に配慮した製品及び生 産工程の構築
6. 社会貢献、 地域社会との共生	・地域活動参加 ・工場周囲環境点検 ・地域活動への協賛 ・地域住民、社員家族対 象イベント開催	・クリーンアップ作戦 剣道大会、納涼祭 ・外構点検 ・提灯祭り、菊人形協 賛 ・緑地・遊歩道開放 体験デー開催	○	・社会貢献活動の計画と実施

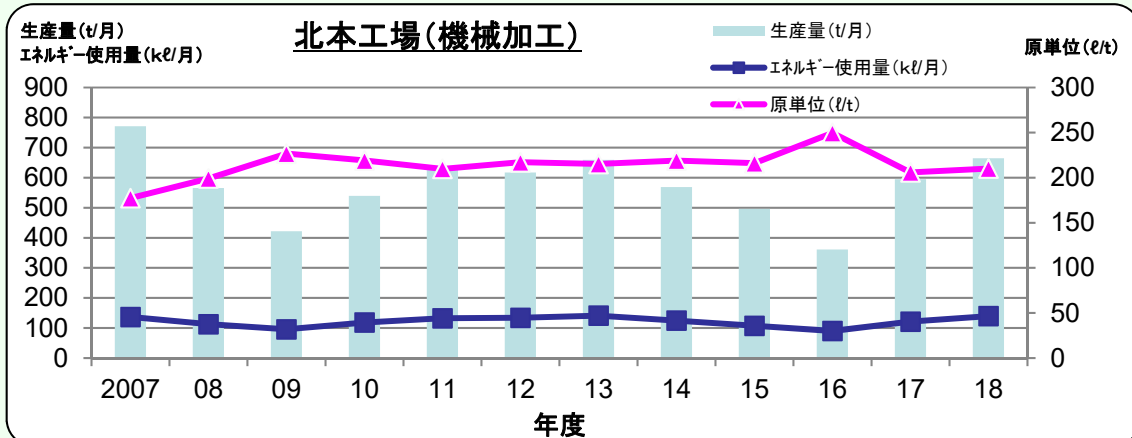
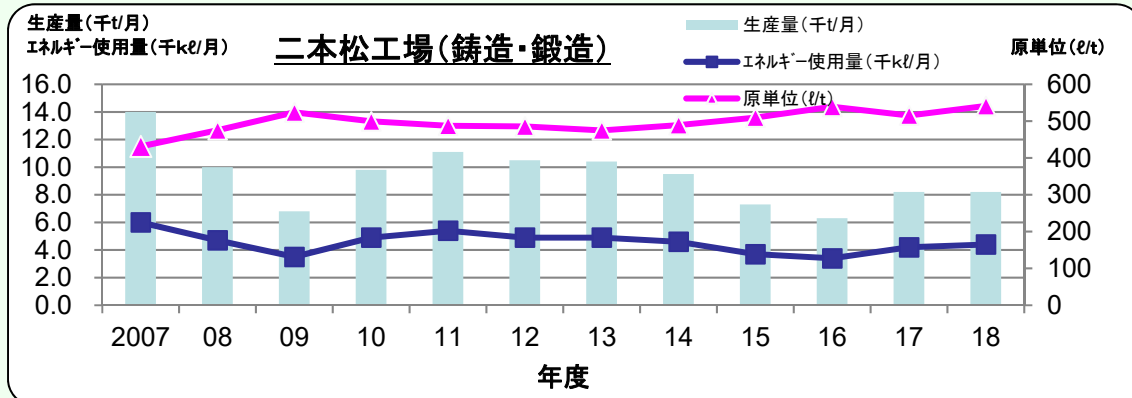
地球温暖化防止



■ 省エネルギーの推進

当社は、鋳造、鍛造メーカーとして多くの電力や燃料を消費しており、省エネ及びCO₂の排出抑制を環境改善活動の重要テーマとして取り組んでいます。

◆ エネルギー使用量、原単位の推移



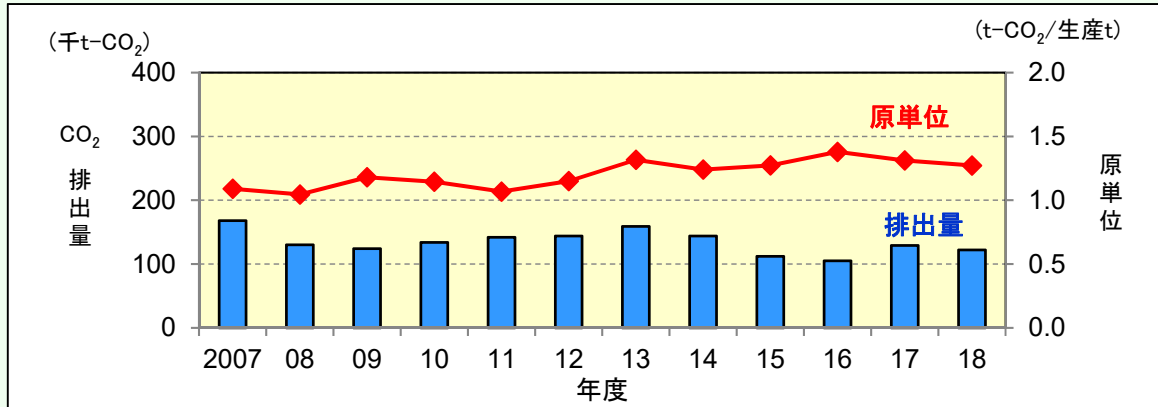
◆ 2018年度の主な省エネ施策

エネルギー	省エネ改善項目	区分
電力	照明のLED化展開	二本松・北本
	歩留まり改善	鋳造・鍛造
	鋳造、鍛造各ラインの稼働率改善	鋳造・鍛造
LPG	鍛造加熱炉燃焼効率改善	鍛造
灯油	SR処理レス化展開	鍛造
	砂再生熱交換器改善	鋳造

*2019年9月 太陽光発電導入

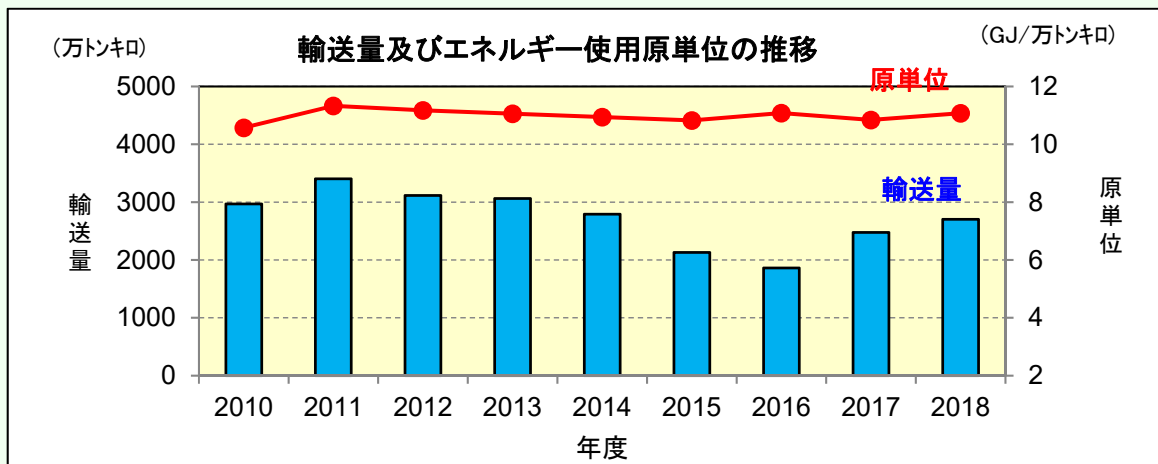
地球温暖化防止

◆ CO₂排出量と原単位の推移



◆ 製品輸送等に関わる省エネ活動

輸送業者及び顧客と連携して、直送化、加工付受注、アイドリングストップ活動、及びデジタコによる燃費管理推進等の活動を実施しています。



対象エネルギー：製品関係の輸送用燃料
対象エネルギー：産業廃棄物関係の輸送用燃料

毎年、2月の省エネルギー月間と8月には省エネキャンペーンと題して省エネ意識向上を目的とした各種行事を展開しています。



省エネ講和



省エネ点検

地球温暖化防止

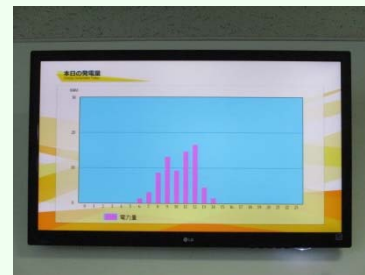
◆ 太陽光発電設備設置

設備概要

- ・太陽光モジュール(パネル) VBMS285AJ05 定格285W×144枚 41.04kW
- ・PCS(パワーコンディショナー) VBPCTA0A4 10kW×3台
- ・交流集電箱 BPSVA31203



太陽光パネル



表示モニター画面

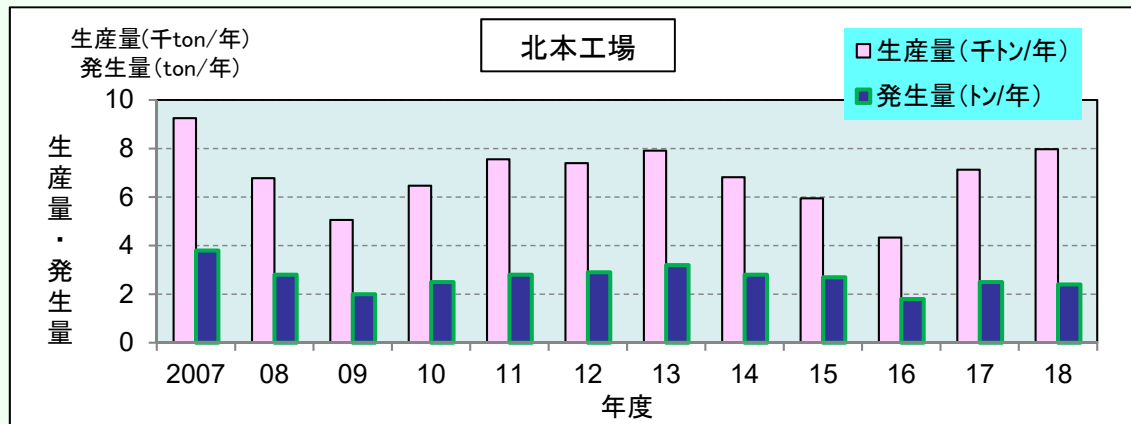
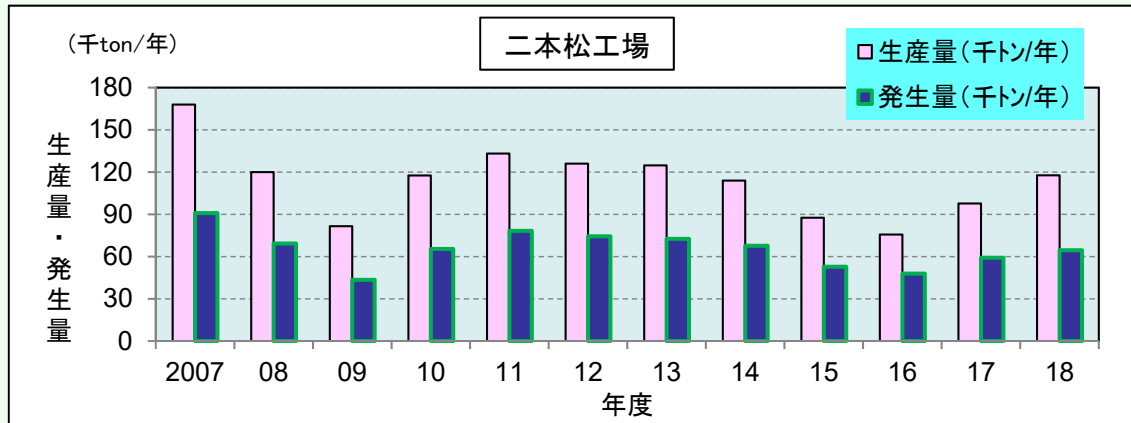
廃棄物の削減



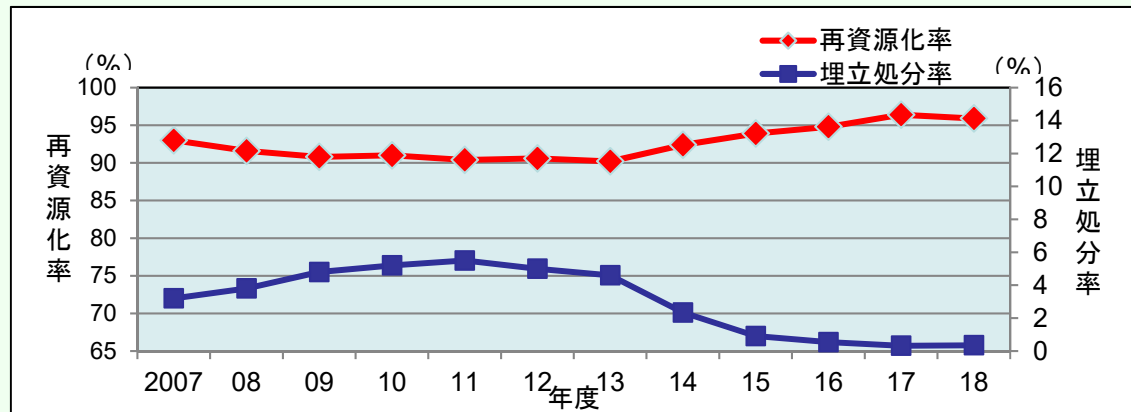
■ 廃棄物発生量の低減

生産活動ではさまざまな種類の廃棄物が発生します。当社では、廃棄物も貴重な資源と考え、全社員が知恵をしばり、再利用による減量化や再資源化の拡大などに取り組んでいます。また、再資源化利用の有価物化を目指す活動も積極的にも取り組んでいます。

◆ 生産量と廃棄物発生量の推移



◆ 再資源化率と埋立処分率の推移(二本松工場)



廃棄物の削減

◆ 廃棄物の発生内訳と再資源、減量、埋立処分実績（2018年度） 〔二本松工場と北本工場の合計〕

二本松・北本工場	処理	ton/年
汚泥	再資源、埋立、減量	795
廃油	再資源、減量、有価物	692
廃アルカリ	再資源	3
廃プラ	埋立、減量	95
金属屑	再資源	11,288
ガラス・陶器	埋立	4
鉱さい	再資源	51,948
煤塵	再資源、減量	92
その他	再資源、減量	1,960



◆ 3R (Reduce, Reuse, Recycle) の改善

2018年度の主な改善施策

3R	種類	主な改善内容	区分
Reduce	鉱さい	キュボラ 脱硫スラグ発生低減	鑄造
	レンガ屑	加熱炉キャスター屑、廃レンガ屑低減	鍛造
Reuse	鉱さい	中子砂再生比率アップ	鑄造
Recycle	汚泥	排水工程脱水汚泥再資源化	施設管理
	金属屑	ソリブスケール有価物化	施設管理
	鉱さい	ショット廃砂有価物化	施設管理

有害物質の管理



■PCB(ポリ塩化ビフェニルの管理)

二本松・北本工場共に、PCBを含む使用済みコンデンサー類を保管しており、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に定める基準により適切に保管・管理しています。
現在使用中の物を含め、定められた期限内の処置を進めていきます。

◆ PCB保管状況

コンデンサー	保管数量	北本工場	2台
トランス	保管数量	二本松工場	0台
	使用設置数量	二本松工場	6台
安定器	保管数量	二本松工場	33台
		北本工場	1台

■PRTR

二本松工場は、PRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律)に基づく、指定化学物質の排出・移動量の報告義務を有し、その結果を毎年、治自体に報告しています。

なお、北本工場は報告対象事業所に該当していません。

◆ 2018年度 PRTR法に基づく排出・移動量

単位: kg

政令番号	物質名	排出量	移動量
53	エチルベンゼン	14,000	
80	キシレン	21,000	580
87	クロム及び3価クロム化合物		1,900
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	2,500	
277	トリメチルアミン	780	
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	9,100	51,000
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	2,500	
300	トルエン	15,000	5,300
302	ナフタレン	32	3,100
308	ニッケル		29
349	フェノール		47
412	マンガン及びその化合物		12,000
453	モリブデン及びその化合物		2,100
243	ダイオキシン (単位:mg-TEQ)	0.2473	0.00015

事業活動の環境負荷

■ 環境負荷の状況(二本松工場)

当社では、鋳造、鍛造事業の生産活動に使用される、エネルギーや原材料、水、化学製品等のインプットと、製造過程で発生する廃棄物や排水、化学物質の排出量等のアウトプットを定量化、管理し、環境負荷低減活動に活用しています。
以下に2018年度の環境負荷を示します。

製品

鋳造: 75,269 ton

鍛造: 25,673 ton

アルミ: 3,011 ton

大気への放出

SO_x排出量: 19.1 ton

NO_x排出量: 97.7 ton

煤塵排出量: 28.4 ton

温室効果ガス

CO₂排出量: 132千ton-CO₂

化学物質の排出

PRTR排出量: 65 ton

エネルギーの使用

電力: 37,162 kℓ

燃料: 15,839 kℓ

廃棄物の排出

廃棄物発生量: 64,500 ton

リサイクル量: 61,872 ton

最終埋立量: 224 ton

原料の使用

鋳造: 73,677 ton

鍛造: 31,916 ton

アルミ: 4,066 ton

化学物質の使用

PRTR使用量:
895ton

水系への排出

排水量: 408,706 m³

BOD排出量: 1.10 ton

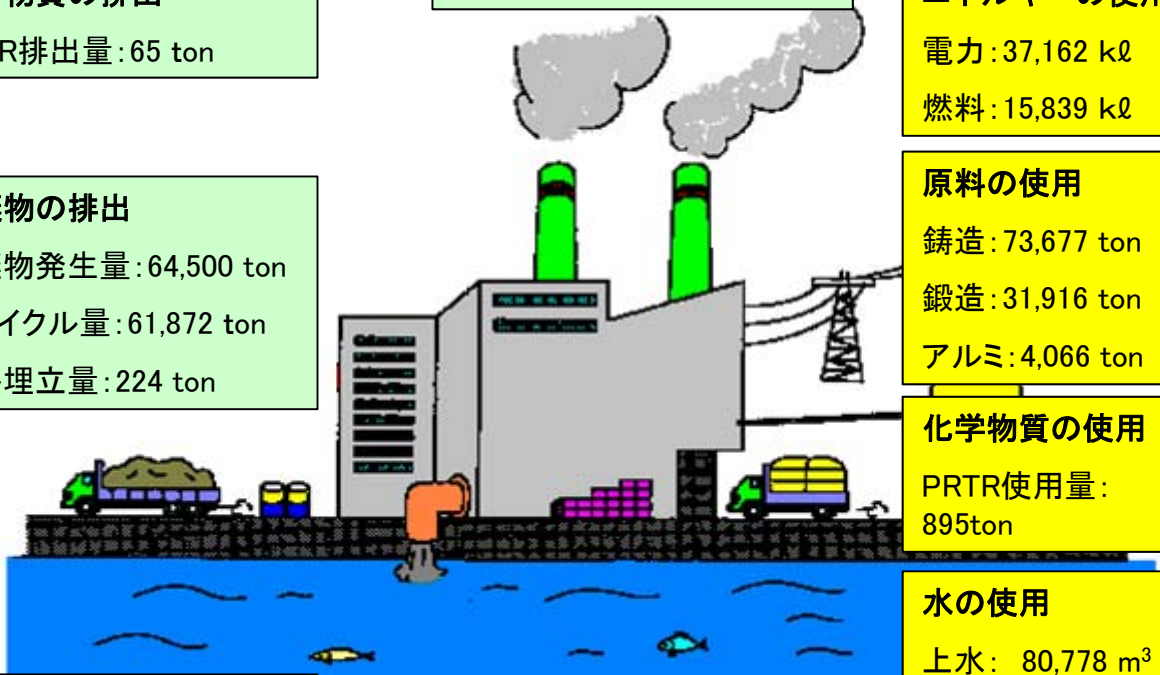
COD排出量: 3.07 ton

SS排出量 : 0.85 ton

水の使用

上水: 80,778 m³

工水: 453,290 m³



環境保全、地域社会及び社員との共生



■環境保全活動

環境保全委員会の活動を通して、環境改善・環境保全を継続的に進め、「環境にやさしい企業」を心掛けています。

◆構内緑化活動

二本松工場、北本工場ともに、構内は多くの樹木が植えられ、目で四季を感じられます。

二本松工場の北側緑地には、遊歩道を整備しており地元でも名所のひとつとなっています。



環境月間行事

[活動内容]

- ・期間中広報ポスターを各職場に掲示して意識高揚を図る。
- ・環境点検
- ・工場周囲クリーンアップ清掃活動
- ・各職場クリーン改善活動・点検



◆工場周辺の環境整備

毎年6月と12月に、工場周辺の環境点検、ごみ拾いを行っています。また、草刈や樹木剪定も定期的に行い、環境整備に努めています。

■ステークホルダーとの交流・貢献活動

◆ステークホルダーとの交流



二本松工場 北側緑地開放デー

草花の開花の時期に合わせ、毎年開催しており、広場にはソメイヨシノを始めレンギョウ、モクレン等、多くの花々が見頃を迎え、来場者を歓迎。



取引先との協調

毎年2回、取引先の皆様を対象に生産情報説明会を開催し、弊社に顕著な貢献をして頂いた取引先様への表彰も行っています。



テクノメタルものづくり体験デー

次世代育成支援の一環として、また、社員家族の会社、職場への理解を図り、家族とのコミュニケーションを深める目的として開催しています。



MVP/MVT表彰制度

当社では、環境を含む各種活動において優秀な社員及び職場に対し、表彰制度を設けています。社員全員にチャンスがあり、各種活動に対する積極的な取り組みを促すもので、毎年2回開催しています。

◆ 社会貢献



工場隣接道路のクリーンアップ活動



公園草刈・清掃活動



地域行事への協賛
(工場グラウンド貸出)



歳末助け合い募金



地域スポーツ行事への協賛及び後援



二本松提灯祭りへの協賛



二本松菊人形への協賛

テクノメタル株式会社

本社・二本松工場
北本工場

福島県二本松市高田100番地
埼玉県北本市古市場1丁目100番地